

# 向かい風

北村あやこの市議会政レポート  
【No.51】 2008年 6月発行



みんなで心がやう  
あたたかいまつを  
作りませんか

★1950年桶川市生まれ。桶川南小学校、国立埼玉大学付属中学校、県立浦和第一女子高校、中央大学経済学部卒業。★1990年～国会議員秘書。★1991年、市民派女性議員として当選。以後4期当選。★05年市長選に敗退。昨年市議に復帰。

## 北村あやこの一般質問



### 《上口出谷南区画整理事業》

Q 事業計画は破たん（21年経過）、見直しで地権者の負担は、平米当たり平均6786円と試算されている。百㎡で67万円取られる計算だ。転居してきた人も、これだけの負担をするとなると、今後、保留地は売れない。組合と市は責任がある。

A 総額約39億円の資金不足だ。移転予定の建物を存地で残せないか、検討が行われているが、それぞれの負担の確定には至っていない。

### 《下口出谷東区画整理事業》

Q 15年で進捗率が約10%、事業は破たんし、見直しを（社）まちづくり区画整理協会に随意契約で委託した。スポーツ広場付近を3万5千㎡の商業施設にするため、40年以上都市計画決定されていた県道沿の宮線を曲げ、昨年10月末、土地を取り上げるかのように仮換地指定を行う暴挙に出た。現在の審査請求は。

A 13件出ている。拠点街区の面積の49%にあたる。移転は7戸。多くの方が早期の事業完了を望んでおり、理解いただくと、組合を指導、支援したい。

Q 拠点施設の売却条件を、「近隣商業地域の用途変更」としたのはなぜか。なぜ住民の声を聞かないのか。

A 大規模な保留地を一括売却し、短期間で進める事業資金を確保したい。一括して買ってもらおう企業には、現在の住居系用途では制約が大き過ぎるので、商業施設が最も現実的と考えた。商業系用途の変更で、付加価値を上げる。将来のまちづくりのパートナーとして、協力していただける企業者を、選定していく予定。

Q 区画整理地域は、都市計画マスタープランで、近隣商業地域と位置づけられていない。用途変更で、何が建築できるのか。

A マスタープランを今後改正していくべく、今、総合振興計画の見直しを行ったところで、今後は市のマスタープラン、それから県の「整備・開発・保全の方針」を変え、用途地域の変更を考えている。1万㎡を超える商業施設、シネコンなどの映画館、パチンコなどの遊技場が建築できる。

## 私たちの税金を取り戻します

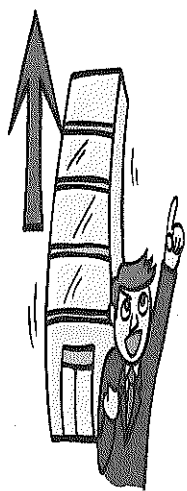
雨あがりの明け方、露草が紫色の花びらを開き、あでやかにひそかに咲いています。その命のささやきに、しばしうっとり。至福の一時に感謝！

3月議会は、約1ヶ月。悪名高き、後期高齢者医療制度も始まりました。2年前の国会、私は厚生労働省の担当者こんな会話をした記憶があります。「介護保険と保険料が天引きでは、には、設計業者に709万の損害金を

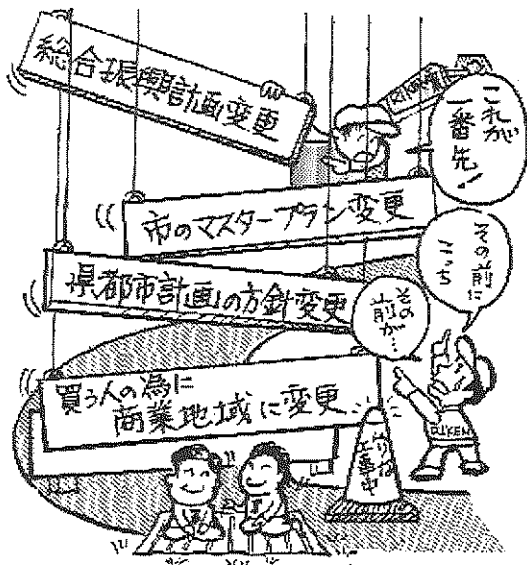
暮らしていけない年寄りが増える。「そのときは、生活保護があります。「生活保護は、家を手放さなければ、受けられないでしょ！」

現場を知らない官僚が法律をつくり、生活を知らない政治家がそれを認める。政治は「私たちの暮らしを守る」はずなのに、どこかおかし。

支払ったのです。議会に諮るべき「損害金」を偽装し、仕事をしたように見せかけて、密かに支払っていました。偽りに塗り固められた政治。「市長の責任で、全額桶川市に返せ」と監査請求をしました。裁判で最後まで闘い、無駄に使った税金は必ず、取り戻します。



Q 同じく、06年2月「明後日、興津副部長（県都市整備部）の桶川市訪問を控えていることから、線形と事業手法の変更を勘案し、各課で打ち合わせを行った」と県の記録がある。



Q 05年、県は滝の宮線の路線変更に同意していない。平成10年に、「22m道路には緑地帯を設置」と、道路法が変わり、「現行構造令に合致しない。都市計画法上難しい」と。県の資料では、「前回の打ち合わせを受け、検討したが、委託先であるまちづくり区画整理協会の理事の理解を得られず、再検討の結果、当初相談どおり変更すると、桶川市より報告等受けた」と、記録がある。桶川市が県の指導を拒否した。

まちづくり協会の理事とは、市長の前後援会長のことだ。つまり、市民に諮らないで身内で大きな事業が決められた。不可解だ。

A 神明2丁目の住民305名の地区計画変更の要望書が昨年9月20日付で提出された。4月に説明会を開催、都市計画の進め方を説明していくことになるが、最短で変更告示は6月から7月ごろになると思う。

Q 15階マンション問題から、住民が建物の高さを制限する地区計画へ主体的に取り組んでいる。地区計画策定に向けたスケジュールを。

《神明地区のまちづくり》

A 興津さんは市の部長も務め、一緒に仕事をした仲間だ。「桶川に住居を移した」と聞き、当時働いた仲間が、個人的に歓迎会をやるとうと、一緒に行ったことがある。何か、「後がま」的な話もあったが、考えてみると非常にいい案で、一考に値する。参考にさせていただきたい。(市長)

Q 昨年、興津元副部長の歓迎会を、市長と職員で開いたと聞いている。次の副市長候補は興津氏、との噂も聞いた。これと関係するのか。なぜ県の職員がここまで超法規的なことができるのか。

A 下東の見直し等は、国、県の指導を抜きに、考えられない。私はあいさつをして、退席した。(市長)

市長は2月9日に興津副部長と会った。この日を境に、道路構造令を無視して、変更に動く。そこまでして拠点施設はいるのか。

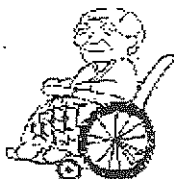
08年度区画整理投入予算

	合計額	割合
上日出谷南	5,631万円	4.3%
坂田東	1,405万円	1.1%
坂田西	6,515万円	4.9%
下日出谷東	11億8,658万円	89.8%
合計	13億2,209万円	100.0%

下日出谷東だけ突出している

福祉切り捨て予算

後期高齢者制度に便乗



子ども医療費の補助は拡大した一方で、放課後児童クラブは値上げ。妊産婦検診も、2人目には11回の補助を拡大したのに、初産は5回のみ、心が見えません。

今年度予算は、特別会計も含め、総額約320億円。地方自治法は「市は、住民の福祉の増進を図ることを基本とし、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担う」とあります。桶川市は、国の後期高齢者医療制度に便乗し、お年寄りの福祉・医療サービス、軒並みカットしました。

子ども医療費の補助は拡大した一方で、放課後児童クラブは値上げ。妊産婦検診も、2人目には11回の補助を拡大したのに、初産は5回のみ、心が見えません。

「後期高齢者医療制度に便乗し、お年寄りの福祉・医療サービスを、軒並みカットしました。」

桶川市の民主党会派は賛成です。

民主党は賛成？ 国政で野党は、

後期高齢者医療特別会計・一般会計の票決

賛成	反対
公明	無党派
大沢 中俣	北村
平成会	共産党
岡地 関根武	高野
新風21(民主)	大沢
大塩 町田	永野
佐藤	
新政会	
市川 砂川	
臼田 野口	
大隈 和久津	
無党派	
島村 渡辺	
進藤	

福祉切り捨て合計額(切捨て+値上げ分)万円

後期高齢者特定検診	1,969	75歳以上からも徴収
配食サービス	118	100円値上げ
高齢者インフルエンザ	365	500円値上げ
ガン検診	1,800	1.5倍~2倍値上げ
寝具乾燥サービス	125	廃止
高齢者オムツ助成金	906	減・世帯全員非課税のみ
高齢者憩いの家事業	234	廃止
要介護老人手当て	140	減・要介護4.5のみ
計	5,657	
子ども		
放課後児童クラブ	100	36%が13~20%値上げ
助産師訪問指導	6	80回→69回に減
計	106	
障害児者		
生活ホーム委託	125	補助金カット
障害者地域ケア	416	補助金カット
福祉タクシー補助	218	枚数減 3枚→2枚/月
障害児・者サポート事業	64	補助金カット
計	823	
他		
保養施設利用補助金	10	補助 3,000円→2,500円
総合計	6,596	万円

下日出谷東拠点施設関連予算

区画整理事業	7億2,700万円
滝の宮線整備事業	9億8,000万円
滝の宮沿線下水道事業	3億5,000万円
合計	20億5,700万円